

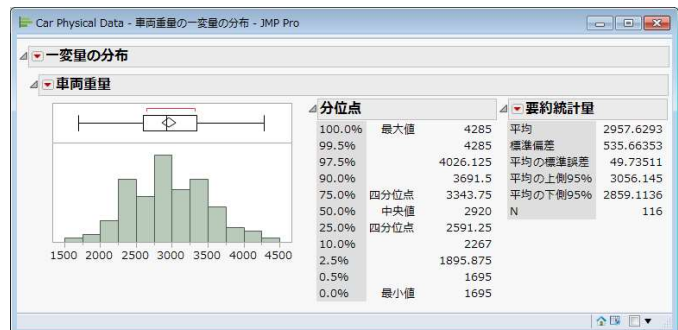
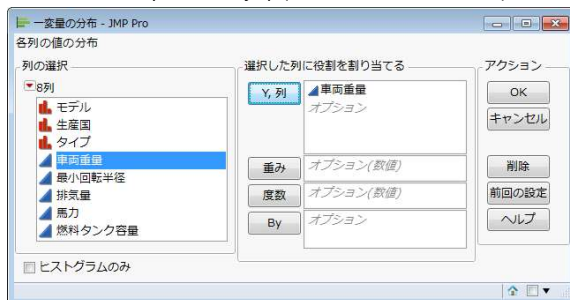
ヒストグラム、記述統計量および幹葉図

これらは、連続変数(数値)の分布の記述や表示に使用するものです。ヒストグラムと幹葉図は素早く分布の形状(分布の中心や広がり)を確認するのに役立ちます。カテゴリカル変数(名義尺度または順序尺度)については、**“度数の棒グラフ”**のページで紹介しています。

ヒストグラムと記述統計量

1. JMP®データテーブルを開き、**分析>一変量の分布**を選択します。
2. **列の選択**のリストで1つまたは複数の連続尺度の列(青い三角のアイコンが表示されています)を選択し、**Y, 列**をクリックします。
3. **OK**をクリックすると、ヒストグラム、外れ値の箱ひげ図、記述統計量が表示されます。
 - 四分位点、中央値を含む百分位点(パーセンタイル)が、**分位点**のタイトルの下に表示されます。
 - 標本平均、標準偏差などの統計量が、**要約統計量**のタイトルの下に表示されます。

例: Car Physical Data.jmp (ヘルプ> サンプルデータ)



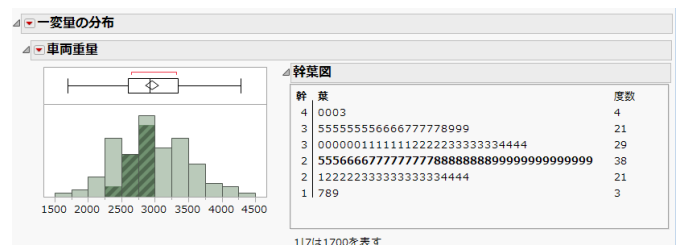
ヒント:

- 縦ではなく横に並べて表示する場合(右上図)は、一番上の赤い三角から**積み重ねて表示**を選択します。
- グラフの表示を変更したり、追加でオプションを選択したりする場合は、変数名の横にある赤い三角をクリックします。
- 別の要約統計量を表示する場合は、**要約統計量**のタイトル横の赤い三角を使用します。
- 今後デフォルトでレポートを横に並べて表示させたい場合は、**環境設定 > プラットフォーム > 一変量の分布**を選択し、**積み重ねて表示**と**横に並べる**にチェックを入れて **OK** をクリックします。

幹葉図

幹葉図を作成するには、変数名が表示されているタイトル赤い三角から幹葉図を選択します。

ヒント:



- 値を読み取るキーは図の下に表示されています。この例では、データの最大値は 4300 で最小値は 1700 であることが分かります(値は 100 の位で丸められています)。
- 幹葉図の値をクリックすると、ヒストグラムとデータテーブルで該当の観測値が選択されます。同様に、ヒストグラムの棒をクリックすると、該当の観測値が幹葉図とデータテーブルで選択されます。

注意: 詳細については、基本的な統計分析(ヘルプ>ドキュメンテーション以下)を参照してください。